

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-P4(No.262+16.0 L10.5)		調査位置			北緯	36° 35' 35.0000"	
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所		調査期間	2010-09-21 ~ 2010-09-22		東経	139° 52' 11.0000"	
調査業者名			主任技師			現場代理人	コ	ア
孔口標高	149.60 m	角			方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°		
総掘進長	10.10 m	度			地盤勾配	鉛直 0.00°		
				使用機種	試錐機		ハンマー	
				エンジン		ポンプ		

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日	標準貫入試験					原位置試験 深度 (m)	試験名および結果 深度 (m)	試料採取 番号	採取方法	室内試験	掘進月日		
												深度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量 (cm)								N 値
													0	10	20									
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)												
	149.40	0.20	0.20		盛土 (BS) 風化凝灰岩 (T)	暗灰			0.15mまで砕石、以深粘土主体 風化が著しく土砂状		09/21 06:00 06:00	1.15				11								
1						黄灰						1.45	3	3	5	30								
2												2.15				18								
3						黄灰			固結状を呈し短柱状コアとなる 3.7 ~ 4.0m付近、亀裂が多く亀裂面は黒褐色を呈す			2.45	6	6	6	30								
4												3.15				12								
5	145.10	4.30	4.50		凝灰岩 (T)				全体に固結状を呈し、棒状コアとなる 亀裂はほとんど無く、φ5 ~ 20mm程度の礫を点在する			3.45	3	4	5	30		3.60	4-1	圧縮、超音波	09/21			
6												4.15	7	9	9	25		3.80						
7						黄灰・黄褐色						4.45				40		5.40	4-2	圧縮、圧裂、超音波、スレーキング				
8												5.15	13	22	5	30								
9												5.45				>50		6.00						
10	139.50	5.60	10.10									6.15	22	28	8	50								
												6.33				>50								
												7.15	42	8	2	50								
												7.27				12								
												8.00	43	7	1	50								
												8.11				11								
												9.00	50	8		50								
												9.08				8								
												10.00	50			50								
												10.10				10								